

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年9月14日

号機

3・4

件名

サービス建屋地下1階ダクト穴からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2022年9月13日午前10時20分頃、管理区域で作業するための保護衣・保護具の保管室（管理区域）にて、協力企業作業員が、「点検のため保温材を外した際に空調ダクトに穴(直径1cm程度、2箇所)が開き、その穴から空気が吸引されていること」を確認しました。10時50分頃、テープによる応急処置を実施し、当該穴からの空気の吸引は停止しております。

【対応状況】

その後、当該ダクトから吸引された空気が非管理区域側へ流れていたことが判明したため、ダクト穴周辺で放射能測定を実施し、汚染がないことを確認しております。
なお、本事案の原因等については、現在調査中です。

① 6、7号機において、同様な箇所がないことを確認いたしました。1～5号機について、引き続き調査を進めてまいります。

（2023年1月12日までにお知らせ済み）

【推定原因】

当該箇所は、水分・塩分を含む外気を取り入れるダクトであることから、塩害により内面から腐食が進行し、貫通に至ったものと推定しました。

【対応結果】

6、7号機に加え、1～5号機においても、外気を取り入れる箇所で管理区域と非管理区域を跨ぐダクトがないことを確認いたしました。また、外気を取り入れる箇所に設置していない管理区域と非管理区域を跨ぐダクトについても同様な不適合箇所がないことを確認いたしました。

【対策】

今後、当該ダクトについては、取替を実施するとともに、外観点検から内面点検に点検方法の見直しを行うこととしました。

プレス公表（運転保守状況）

発生日

2023年3月30日

号機

6

件名

タービン建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）

【事象の発生】

2023年3月29日午後4時18分頃、6号機タービン建屋1階タービンバイパス弁エリア（管理区域）で耐震強化工事に従事していた協力企業作業員が、鋼材を運搬中に階段で躓き体勢を崩し、グレーチングに右手をついた際に小指を負傷したことから、午後5時25分に業務車にて病院へ搬送しました。なお、本人は意識があり、身体汚染もありません。

【対応状況】

病院での診察の結果、「右五指尖部裂創」（通院加療、全治2週間）と診断されました。今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。

（2023年3月30日にお知らせ済み）

②

【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）	発生日	2022年3月18日
号機	5	件名	原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）	発生日	2022年8月17日
号機	-	件名	免震重要棟2階会議室のパソコンからの火災について（区分：Ⅰ）	発生日	2023年1月17日
号機	5	件名	ランドリ建屋（管理区域）における火災の発生について（区分：Ⅰ）	発生日	2023年4月11日